

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2024年10月13日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌56「七日の旅路」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌87B「恵みの光は」	一 同
教会学校	「世界のはじまり」	牧 師
讃 美	讃美歌505「妙なる恵みや」	一 同
聖書朗読	使徒行伝14:1-7	
奨 励	使徒行伝の福音(第46回)	牧 師
主 題	「にもかかわらず、の信仰」	
讃 美	讃美歌510「幻の影を追いて」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌544「主イエスの恵みよ」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記第30章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないキリスト個人個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】
10/13(日)聖日礼拝
/14(月)スポーツの日
/15(火)
/16(水)
/17(木)10:00聖研
/18(金)10-12:OBS757
/19(土)13-16子供ゲーム



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「クリスチャン・ライフ」

(飯島正久「青春と宗教」p.96)

人生は、終わりに近くなるにつれて、意義を見失うに至るものです。中年を過ぎる頃、人は誰しも「私の人生は何であろうとしているのか?」と疑い始めます。若い頃の幻や抱負がいかにか淡い曇り雲でしかなかったかに気づいて愕然とします。世の仕組みがいかにか複雑怪奇であり、わかりきった小さな正義一つさえ実現不可能な泥沼であることを知って行きづまりを感じるのもこの頃です。

ですから、人は人生の残り三分の一くらいは、淋しい笑いで「人間」を眺め、人生を事実上放棄して日を送っているのです。しみりと打ち明け話を聞いてごらん下さい。クリスチャン以外の人は、多くそうであることが分かります。若い時、こうすればよかったのに…あの職業を選べばよかったろうに…そのためにはあの学校へはいるべきだったろう…あっちの人と結婚すべきだった…次から次へと後悔の念が湧いて出て、人生とは多く、これ悔やみの連続なのです。

こうした中で、クリスチャンの立証はひととき輝きを増します。クリスチャンは、決して長く充実した人生を、その完成度において誇るものではありません。むしろ、世の人々と何ら変わりなく、深刻な不運と四つに組んで苦闘し、自らの弱さを知っては心細く思い、人一倍惨めな人生をもつ者であることを知っているのです。

しかし、それにもかかわらず、クリスチャンには結論的にいつも人生の意義と喜びとがあるのです。なぜでしょう。クリスチャンにとって、人生とは「自分の人生」ではないからです。これは異な事を聞くものかな、とお思いでしょうが、その意味はこうです。クリスチャンの人生は、自分の積み上げた実績を誇ろうとする人生ではないということです。したがって、自分の弱さや自分の失敗や、自分の力量の不足さえ、徒らにこれを悔やみ、他をそねみ、内に焦り嘆くことはしないわけです。「誇る者は、主を誇れ!」と聖書にあります(1コリント1:31)。

キリストに召し出されてからのクリスチャン・ライフでありますから、自分のような土器さえも主キリストは用いて下さって、神の御用の中に加えて下さる、という一瞬々々の実感に喜びがにじむのです。徒らに過去を数え、未来に賭けることはしません。たゞ、今の恵みを数えて意義を見出すのです。